



## 2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年10月10日

上場会社名 株式会社 ツヴァイ 上場取引所 東  
 コード番号 2417 URL http://www.zwei.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)後藤 喜一  
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)福島 徹 (TEL)03(6858)6544  
 四半期報告書提出予定日 2018年10月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年2月期第2四半期の業績 (2018年3月1日～2018年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	1,798	△0.2	△95	—	△75	—	△77	—
2018年2月期第2四半期	1,801	△5.4	△126	—	△114	—	△98	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	△19.55	—
2018年2月期第2四半期	△25.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第2四半期	4,269	3,517	82.2
2018年2月期	4,593	3,801	82.5

(参考) 自己資本 2019年2月期第2四半期 3,510百万円 2018年2月期 3,790百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年2月期	—	0.00	—	—	—
2019年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年2月期の業績予想 (2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	1.3	30	—	60	—	12	—	3.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期2Q	3,955,900株	2018年2月期	3,948,900株
② 期末自己株式数	2019年2月期2Q	298株	2018年2月期	298株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期2Q	3,951,811株	2018年2月期2Q	3,944,102株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「（3）業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

わが国では、厚生労働省の平成29年度人口動態統計の概況によると、出生数は平成28年度に続き2年連続で100万人を下回り、自然減は40万人近くに及び、人口減少がますます深刻な社会問題となっております。また、婚姻件数も減少傾向にあり、未婚化、晩婚化が進んでおります。一方で、平成27年に実施された「第15回出生動向基本調査」によると、25～34歳の未婚者のうち、「独身でいる理由」は「適当な相手にめぐり合わない」と回答する男性が45.3%、女性が51.2%ということであり、自分にとって適当だと考える結婚相手と巡り会いたいという未婚者のニーズは依然、高いものと考えております。

このような状況の中、「幸せな出会いを創造する」ことを経営理念としている当社におきましては、顧客満足度の更なる向上を行い1組でも多くの会員さまが結婚できるよう取り組むとともに、将来の成長に向けた事業改革を行ってまいりました。

#### ① 「新しい紹介サービスモデルの導入」

従来からの、条件によるマッチング、価値観によるマッチングに加え、ご自分でお相手を探したいという会員さまニーズに応え、写真とプロフィール情報からお相手を選択できる新たな検索型のマッチングサービス「インプレッションマッチング」を4月より導入しております。新サービススタート時から計画以上の利用者数を獲得でき、その後も利用者数は順調に増加しています。7月より出会いの機会の更なる拡大のために、ご自分で探すことが出来るお相手の人数について、追加申込みが出来るオプションサービスも開始しております。

この新サービスにより会員さま同士の出会いの機会が拡大し、成婚者増加に繋がるものと考えております。

#### ② 「成婚につながる適切なサポートの実現」

マイページサービスの活用促進、お相手候補の検索・選択機能の拡充、会員活動の促進、パーティやセミナーの参加促進、店舗での相談の実施等成婚される会員さまを増加させる取り組みを強化し、成婚率は昨年同期比で1.5ポイント向上しております。更に当期では、店舗での会員フォローやアドバイスの強化を図ることにより、より多くの方が出会いを得て交際に発展するための支援策を新たに企画し実施しております。

#### ③ 「広告宣伝、マーケティングの強化によるリブランディングの実施」

広告宣伝においては、主にタレント（浜野謙太さん・岸井ゆきのさん）を起用したブランディングムービーを作成し、テレビCMや交通広告、YouTube（<https://youtu.be/mVzmrepj8og>）等、さまざまな媒体で積極的に展開をした結果、お客様のご応募者数は昨年同期比で109.0%と昨年を上回りました。

売上高につきましては周辺事業の収益構造を見直したことにより、全社売上高は17億98百万円（前年同期比99.8%）となりましたが、ツヴァイ事業においては、新規入会者が前年を上回り、それに加え新しいサービスによる売上が順調に推移し、当第2四半期累計期間でのツヴァイ事業の売上高は前年同期比100.9%と前年を上回りました。

利益につきましては、新規入会者獲得のための広告宣伝の強化やインプレッションマッチングサービス等のシステム投資および営業体制強化に関わる費用等が増加しましたが、周辺事業の利益改善や主に事業所の閉店による設備費削減等の販売管理費圧縮に取り組んだ結果、営業損失95百万円（前年同期は営業損失1億26百万円）、経常損失75百万円（前年同期は経常損失1億14百万円）、四半期純損失77百万円（前年同期は四半期純損失98百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の分析

#### (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末から3億24百万円減少し、42億69百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1億26百万円減少し、16億50百万円となりました。主な要因は、配当金等支払による手許現金(現金及び預金と関係会社預け金の合計)1億34百万円が減少したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億97百万円減少し、26億18百万円となりました。主な要因は、当社保有株式の時価評価による投資有価証券が1億26百万円減少したことおよび減価償却による有形固定資産34百万円と無形固定資産32百万円がそれぞれ減少したことによります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末から40百万円減少し、7億51百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて20百万円増加し、3億65百万円となりました。主な要因は、広告宣伝を強化したこと等による買掛金が22百万円増加したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ60百万円減少し、3億85百万円となりました。主な要因は、当社保有株式の時価評価等に伴う繰延税金負債が50百万円減少したことによります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から2億83百万円減少し、35億17百万円となりました。主な要因は、四半期純損失77百万円と配当金支払額1億18百万円による株主資本の減少および当社保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金88百万円の減少によります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末から1億34百万円減少し9億69百万円となりました。(前期末比87.8%)

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、64百万円(前年同期より1億26百万円の減少)となりました。主な内訳は、減価償却費を除いた税引前四半期純利益が51百万円、前受金保全額減少による金銭の信託の返還26百万円、媒体強化等に伴う営業債務の増加額22百万円等により資金が増加した一方で、映像媒体等の年間費用を前払いしたこと等による前払費用の増加額36百万円や法人税等の支払額10百万円等により資金が減少したことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、74百万円(前年同期より30百万円の減少)となりました。主な内訳は、システム投資等無形固定資産の取得支出74百万円等によるものです。前年同期より減少した要因は、前年は大阪支社移転に伴う有形固定資産の取得による支出があったこと等によります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、1億24百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払額1億18百万円です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

ツヴァイ事業においては、9月より販売スタートをした新商品「パーソナルサポートプレミアム」「パーソナルサポートスタンダード」の拡販によりお客様の様々なニーズにお応えしていくとともに、引き続きインプレッションマッチングサービスの利用者拡大、成婚につながるとりくみを継続する事で顧客満足度を向上させ、安定的な収益基盤を築くとともに、周辺事業においては収益構造の更なる見直しに努めます。また、広告宣伝、マーケティングの強化も継続して行う事で積極的に認知度の向上を図り、リブランディングを推進してまいります。

また、以上の施策に加えて各種契約の見直し等を実施することでコスト削減を実現し、2019年2月期の業績予想につきましては、2018年4月11日に公表いたしました予想から変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2018年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	53,891	29,005
売掛金	497,258	497,563
前払費用	72,194	108,629
短期貸付金	70,000	70,000
繰延税金資産	34,629	30,262
関係会社預け金	1,050,000	940,000
金銭の信託	65,000	39,000
その他	8,897	7,959
貸倒引当金	△74,240	△71,489
流動資産合計	1,777,632	1,650,931
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	89,601	74,785
工具、器具及び備品（純額）	102,202	88,072
リース資産（純額）	32,264	26,224
有形固定資産合計	224,068	189,081
無形固定資産		
ソフトウェア	723,885	754,134
ソフトウェア仮勘定	92,462	29,557
電話加入権	3,650	3,650
無形固定資産合計	819,997	787,342
投資その他の資産		
投資有価証券	1,220,804	1,093,856
敷金	330,674	320,540
保険積立金	219,102	219,102
その他	810	8,184
投資その他の資産合計	1,771,391	1,641,682
固定資産合計	2,815,457	2,618,106
資産合計	4,593,089	4,269,038

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2018年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	85,923	108,295
リース債務	12,260	12,260
未払金	42,248	47,073
未払費用	103,612	108,890
未払法人税等	11,484	11,920
未払消費税等	18,754	18,175
前受金	32,901	37,865
賞与引当金	16,943	15,556
役員業績報酬引当金	-	872
設備関係未払金	13,510	148
資産除去債務	3,089	-
その他	4,627	4,669
流動負債合計	345,355	365,726
固定負債		
リース債務	23,601	17,107
繰延税金負債	297,387	246,519
退職給付引当金	49,750	46,953
資産除去債務	75,599	75,285
固定負債合計	446,338	385,865
負債合計	791,693	751,592
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	456,855	458,828
資本剰余金		
資本準備金	462,842	464,811
資本剰余金合計	462,842	464,811
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,220,000	1,890,000
繰越利益剰余金	△204,341	△70,069
利益剰余金合計	2,075,658	1,879,930
自己株式	△362	△362
株主資本合計	2,994,993	2,803,208
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	795,393	707,164
評価・換算差額等合計	795,393	707,164
新株予約権	11,008	7,072
純資産合計	3,801,396	3,517,445
負債純資産合計	4,593,089	4,269,038

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)
売上高	1,801,321	1,798,430
売上原価	955,051	949,598
売上総利益	846,269	848,832
販売費及び一般管理費	972,634	944,013
営業損失(△)	△126,364	△95,180
営業外収益		
受取利息	868	870
受取配当金	17,999	18,344
その他	383	432
営業外収益合計	19,250	19,646
営業外費用		
雑損失	7,201	185
営業外費用合計	7,201	185
経常損失(△)	△114,315	△75,719
特別損失		
固定資産除却損	8,263	996
賃貸借契約解約損	8,018	1,128
特別損失合計	16,281	2,124
税引前四半期純損失(△)	△130,597	△77,844
法人税、住民税及び事業税	8,152	7,208
法人税等調整額	△40,051	△7,782
法人税等合計	△31,898	△573
四半期純損失(△)	△98,698	△77,270

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△130,597	△77,844
減価償却費	122,877	129,724
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△255	△2,751
賞与引当金の増減額(△は減少)	△707	△1,387
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	△1,078	872
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,209	△2,797
受取利息及び受取配当金	△18,867	△19,214
固定資産除却損	8,263	996
売上債権の増減額(△は増加)	73,183	△304
前払費用の増減額(△は増加)	2,645	△36,435
金銭の信託の増減額(△は増加)	17,000	26,000
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,850	1,697
営業債務の増減額(△は減少)	65,527	22,372
未払金の増減額(△は減少)	12,336	4,382
未払費用の増減額(△は減少)	18,400	5,277
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,913	△579
前受金の増減額(△は減少)	7,663	4,963
その他の流動負債の増減額(△は減少)	528	△1,001
その他	5,642	△3,385
小計	152,590	50,586
利息及び配当金の受取額	19,382	19,740
法人税等の支払額	△10,193	△10,755
法人税等の還付額	29,401	5,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,180	64,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,985	△5,465
有形固定資産の売却による収入	169	—
無形固定資産の取得による支出	△41,094	△74,834
資産除去債務の履行による支出	△10,892	△3,089
敷金の差入による支出	△5,842	△139
敷金の回収による収入	4,204	8,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,440	△74,539
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△6,097	△6,494
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	7
配当金の支払額	△118,323	△118,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,420	△124,945
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,681	△134,886
現金及び現金同等物の期首残高	1,295,919	1,103,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,257,238	969,005

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。